

はじめに……いよいよ「いつでも総選挙が行われる可能性をはらんだ情勢」。会議の目的は、コロナ禍で住民の命と暮らしを守る役割発揮とともに、県委員長会議の方針にもとづいて、野党連合政権実現へ「2つの目標」達成をはじめ勝利をめざす活動の意思統一をおこなうこと

1. コロナ感染急拡大……立党の精神にたって住民の命と暮らしを守るために全力を

- ▽ 感染爆発と医療崩壊……今こそ党組織と地方議員の総力をあげて住民の不安と困難をつかみ、打開策をハッキリ示し、国民の苦難軽減、命と安全をまもる日本共産党の役割を発揮しよう
 - 菅政権はこれまでの対応の誤りを認め、パラリンピックの中止、自粛要請とセットで十分な補償、入院制限方針を撤回し早期治療で重症化を防ぐ、ワクチンと大規模検査、臨時国会開催を
 - 地方自治体が命と暮らしを守るために総力をあげるよう、緊急の働きかけを……パラの学校連携観戦中止、大規模医療施設の確保と自宅療養者への支援、検査の拡充、補償と生活支援
- ▽ 科学無視、説明できず強権だのみ、自己責任の「3つの致命的欠陥」の自公政権では命と暮らしを守れない。自公政治を終わりにして、新しい政治を求める流れの広がり。共闘の力で菅政権を倒し、国民の命と暮らしに責任を負う新しい政権をつくろう
- ▽ 災害に備え、被害者の救援・支援に力をつくす

2. 創立記念講演を深く学び、総選挙勝利へ、党の真価を語りひろげよう

- ▽ 党綱領の全体で党の真価が全面的に示された……深く身につけ、総選挙勝利の力にしよう
 - 侵略戦争反対の不屈のたたかいを現代に引き継ぎ生かした命と暮らしを守るたたかい、日本の政治の2つの歪みの根本にメスを入れる、世界の主流に働きかけ逆流とたたかう、国民共同の力で社会変革を進める、資本主義をのりこえる未来社会をめざす
- ▽ 社会変革を進める主体的条件を発展させる……未来を開く日本共産党の歴史的使命をはたそう
 - 苦難軽減のための献身と前向きの変化、新自由主義からの転換の動き、世界の主流の力強い前進、市民と野党の共闘、資本主義を乗り越える模索
 - 労働者階級が、長時間労働をはじめとする過酷な搾取から自らの命と暮らしを守るたたかいによって「訓練」され自分自身の「組織」をかちとり、体制そのものを変革するたたかいを発展させる

3. 「2つの目標」をはじめ総選挙勝利へ、全支部・全党員の総力を発揮しよう

都議選勝利、菅自公政権への怒りの広がり、総選挙で躍進する政治的条件をつくりだしている

- 若い世代・現役世代をはじめ、党と接点のなかった人々の中でも党への見方が変わり、新しい注目が寄せられている。東京と全国の政治的空氣を大きく変えている
- 野党連合政権実現への現局面での最大のカギは、比例での党躍進の勢いをつくりだすこと。そうしてこそ共闘の前進への道も開かれる。その中で必勝区の12区・20区での議席の獲得をはじめ、各小選挙区での勝利をめざして奮闘する

都議選の教訓をいかし、東京での比例110万人以上・20%をどう実現するか

- ▽ 「2つの目標」をめざす活動の到達点について……声の宣伝が7月の1.6倍化など特別な条件の中でも総選挙への努力がはじまっているが、勝利のためには一気に総選挙モードに切りかえることが急務。議員や幹部党員を先頭にダッシュをつくりながら、全支部全党員の総決起が最大のカギ
- ▽ 100%の支部で記念講演を学ぶとともに県委員長会議を討議・具体化し、前回の1.8倍の比例110万票以上の実現で3、4議席へ前進する支部の本気の目標を鮮明にすることに執念を燃やす。職場支部・タテ線の力の発揮へ、手立てを強める。党機関と地域選対の臨戦体制の確立を急ぐ
- ▽ ポスターをはじめ宣伝戦を抜本的に強化して他党派を何としても上回る
 - 全ポスターの張り出し、声の宣伝、目玉街宣を含め街頭で目立つ宣伝などで党の勢いを示す
 - 新たに党と候補者の値打ちを鮮明にした党押し出し比例リーフを作成し、全戸配布する。小選挙区候補者宣伝物の作成をすすめる
 - 新しい可能性をひらいたネット・SNSのとりくみを、活動参加をひろげさらに大きく発展させる
- ▽ 文京や日野などの経験に学び、「いよいよ総選挙」の情勢を伝え、後援会ニュースを使っただちに「折り入って」作戦にとりくみ、全都40万人の担い手をつくる。比例リーフを大規模に活用する
- ▽ 「折り入って」作戦と結び、1支部あたり、10人以上に入党を呼びかけ、日刊紙2人・日曜版6人の増勢で、党勢の前回時回復に正面から挑戦する。青年・学生分野で7・8月計で党員100人(残94人)、民青同盟員119人(同96人)を拡大する
 - 都議選で応援してくれた10～20人のリストを全支部で作成して、記念講演視聴の「集い」などに気軽にとりくみ、入党リーフも活用して「共産党を伸ばして自公政権にかかわって命と暮らしをまもる野党連合政権を一緒につくみましょう」と入党を働きかけよう
 - 映画でも注目を集める紙面の値打ちを語り、総選挙にふさわしく、赤旗・「東京民報」読者拡大の大飛躍を

以上